

# 報 道 資 料

平成22年1月14日（木）

件 名 国民新党役員の来庁について

概 要 このことについて、下記のとおりお知らせします。

## 記

1. 日 時：平成22年1月14日（木） 9時10分～9時30分

2. 場 所：市長応接室

3. 来庁者：国民新党

政務調査会会長 衆議院議員 下 地 幹 郎（しもじ みきお）

参議院議員 亀 井 郁 夫（かめい いくお）

4. 応対者：岩国市長 福 田 良 彦（ふくだ よしひこ）

5. 市長コメント

本日の訪問の目的につきましては、在日米軍のあり方等について勉強するため、色々な国内の基地を視察するとの説明でありました。最初は、普天間基地機能の移転候補地としての視察ではないかとの懸念があり、普天間基地の岩国移転については、到底容認できないことを伝えたところ、先方からは岩国を候補地とは考えていないとの明確な発言があり、また、岩国については更なる負担軽減が図られるよう考えていきたいとの考えを示され、その点については安堵したところです。

私からは、岩国基地に関する再編の方針が決まらない状況が継続する中で、市民の間で不安や不信感が増大している状況であり、政府として一日でも早く再編全体についての見直しの方向性を示すことが重要であることを伝えました。

さらに、激しい騒音をもたらす NLP の岩国基地での実施は容認できないことや懸案となっている FCLP 施設の建設場所の選定作業を加速化して欲しいことも申し上げました。

また、国民新党の方々には、岩国市が、これまで国に要望している安心・安全対策や地域振興策の着実な実施についての支援もお願いしたところです。

いずれにしても、短時間ではありましたが、国民新党の方々に岩国市の実情をしっかりと説明でき、有意義な意見交換ができたと考えております。